



RIテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

本年度会長テーマ「新しい風と微笑みを」



「平和構築と紛争予防月間」

◆ 会長時間 ◆

梶本会長



来週入会予定の新会員 玉木さんがいらしていますが、コロナの影響で1ヶ月入会を延期しましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。

本日卓話をしていただく小島様よろしくお願ひいたします。本日の卓話話題が「台湾有事はあるのか？」ですが、当クラブは台南RCと姉妹クラブ関係にあり、新型コロナウイルス感染症が流行する前は、定期的にお互いの国を行き来し、友好を深めてきました。隣国の中でも、もっとも親近感のある国です。災害などがあれば、いち早く手を差し伸べてくれる優しく寛容な心を持った国の方々です。今後も友好国としてお互い尊重し、末永い交流を続けていき、有事などが起こらないことを望みます。

さて、本日は孫氏の兵法の1節をご紹介します。

「其の疾はやきことは風の如く、その徐しずかなることは林の如く、侵掠しんりやくすることは火の如く、知り難きことは影の如く、動かざることは山の如く、動くことは雷の震きよううが如くにして、郷を掠かすむるには衆を分かち、地の廓かくむるには利を分かち、権を懸かけて面して動く」

戦国武将 武田 信玄が軍旗に掲げていた「風林火山」ですが、孫氏の1節を引用したものです。これは、変わりゆく状況に応じて、柔軟に変わっていくことが、あらゆる状況に対応でき、さまざま

な事態を切り拓ひらくという意味です。新型コロナウイルス感染症に対しても、同様なことが今求められています。

話は変わりますが、北京オリンピックも閉幕し、オリンピックのみなさんは「挑戦する素晴らしさ」を伝えてくれました。その中には、成功や失敗もあったでしょう。しかし、コロナ下で暗い世の中に、明るいニュースを私たちに届けてくれたことを本当に感謝したいと思います。

最後に、1ヶ月以上さかのぼりますが、1月6日の新年最初の例会後、ホテルの方の食事の後片付けで気づきました。なんとパンが山のように処分されていたのです。フードロスをなくすことを考えなくてはなりません。SAA委員会で今後いろいろな対策を検討していただければと思います。われわれロータリアンとしてSDGsを唱えるのであれば、「隗より始めよ」という出来事でした。

米山記念奨学会 米山功労者感謝状の伝達



第8回 新原 靖君

● 会務報告

松岡(輝)幹事

※広島県への「まん延防止重点措置」の適用が再延長されましたので、本日及び次週の例会につきましては13時15分までの短縮プログラムとし、昼食については「持ち帰り」とさせていただきます。例会終了後、お帰りの際には出口にて弁当をお受け取りください。

※1月及び2月の例会を5回取り消しましたので、2月定例理事会において、3月は月例会費を徴収しないことが決定されました。3月分創立周年積立金については4月請求の会費で徴収しますので、3月分会費の請求はございません。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 片山委員長

本日(2月24日・木曜日)

会員数	87名	出席者	67名
欠席者	20名	ご来客	0名
ご来賓	1名	ゲスト	1名
		計	69名

※ 次年度 古本幹事

例会終了後、4階「カメラア」において第2回次年度理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 同好会報告

※ 紫友会 村上(健)世話人

2月12日(土)、第8回紫友会例会を広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースにて開催いたしました。当日は、気温13℃まで上がり、ゴルフをプレーするには心地よい天候で、26名の会員の参加をいただいていた開催となりました。

見事優勝されたのは…OUT44 IN34 グロス78 HD13.5 ネット64.5 (-7.5) で、中村(光)君、準優勝はグロス74 HD2.7 ネット71.3で田原君、3位はグロス99 HD25.2 ネット73.8で私村上(健)でした。ブービー賞は小橋君でした。そしてベストグロス賞は、グロス74でいつもの田原君でした。また8名で争われたシニア部は、村上(智)君が優勝されました。

次回の第9回紫友会例会は、3月12日(土)、

同じく広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースにて開催いたします。多数のご参加よろしく願いたします。

● 会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

(6名)

坂田君	玲子夫人
小橋君	裕子夫人
上田君	美智子夫人
大植君	香代子夫人
井下君	由紀子夫人
山木君	路子夫人



1月決算月おめでとうございます。

(5名)

笹野君	おおたけ株式会社
井原君	(医)井原クリニック
中岡君	株式会社ナカオカ
久保君	株式会社サンフレッチェ広島
中村(光)君	南コスモス



RI会長杯 ワールドゴルフ大会に参加して

斉藤 昭一 君

2月19日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースにゴルフ好き8名が集まりました。プレー途中、雪模様になりましたが「RI会長杯ワールドゴルフ大会」に参加し、ポリオ撲滅のための寄付金として50米ドルをロータリー財団に寄付してきました。

この大会はゴルフを通じて世界が一つとなり、ポリオと戦う素晴らしいイベントです。次回はもっとたくさんのメンバーで参加できればと思います。



原君、香川(基)君、上田君、梶本君、西原君、斉藤君、隅田君、北村君



台湾有事はあるのか？

ユー・エンタープライズ株式会社
代表取締役 **小島 光治氏**

ご紹介いただきました小島でございます。ロータリークラブでは1回話した記憶がある程度でございます、ずいぶん古い話です。今日は「台湾有事はあるのか？」という非常にたいそうなテーマになりました。「平和構築と紛争防止」というテーマでしゃべって欲しいということだったので、台湾有事が一番適切かなというふうに言ってしまったために決まったテーマでございます、非常に重いテーマでございます。ちょうどここへくる前のテレビでアメリカの国防長官が、数時間以内にロシア軍の侵攻が始まると。遅くとも48時間以内には始まるというようなコメントを出されておりました。ウクライナ情勢についても少し触れたいと思うのですが、かつては戦争が普通であって、時たま平和がくるという時代を生きてきました。戦後については平和憲法があって日本人が戦争で血を流すということがなかったのですが、21世紀になってやっぱりきな臭いなあということがございまして、我々はどう21世紀を生きたらよいのかということ台湾をベースにして話したいと思えます。

ウクライナの問題の底辺にあるのは、やはりソ連が崩壊し、NATOがどんどん拡大していき、パートナーであるウクライナもNATOに加盟したいということが原因でロシアはウクライナを欲しているわけです。いわゆる国際関係がロシアにとって、あるいは中国にとりましてもいろんな意味で波乱要因、現状維持を変革するような大国が出現したというふうにも考えてもいいのではないかなと思えます。

欧米の研究所などからの発表では、2030年を待たずに中国がアメリカを抜くというような勢いの中で、いわゆる新興大国と既存の覇権国家との対立が、世界を一番左右するという情勢にいたっております。しかも中国は、これからの産業と言

われているITとかAIとか、さまざまな自動運転、それからEV、この分野においてもトップランナーというか、アメリカとともに上昇し合っている。そういう米・中の対立の中で、日本がどんどん埋没しつつあるということは事実であると思うのです。経済力においても、安保体制にしても、多くの面で日本は世界からどんどん取り残されているのではないかとされておりまして。かつて中国を見下してきた日本が、この21世紀にいたっては仰ぎ見る存在のようになってきているようなことが非常に大きな問題になってきていると思います。

今回のウクライナの例でも金融制裁を行うだけです。ロシアの軍事行動を抑えられるかということ非常に難しいという事が分かってきています。なぜ台湾が問題になるのかということ、一つは米・中あるいは日・中もそうなのですが、国交回復する時にいくつかの約束事があるのです。特に承認されているのは、中華人民共和国は中国を代表する唯一の広報政府であるということは日米ともに承認したと。中国側はそれに加えて世界に中国はただ一つであると。台湾は中国の不可分の一部であるという。そのあたりのズレが中国側から見れば台湾問題は国内問題であると言っているのです。従って日本もアメリカも介入することには反対である、というような流れになっているのです。アメリカと中国が国交回復した時に、同時にアメリカは台湾の防衛を台湾関係法というのですが、台湾の防衛をオプションとして認めたのですね。台湾に有事があれば防衛義務を負うということの一つのオプションとして法律にしたと。これはある意味ではアメリカ側は、防衛するかしないかは、その時々によって決めるオプションだということがあり、必ずアメリカが台湾で有事が起きれば防衛するということではないのです。ですから、そこら辺りで北朝鮮もそうですけど日本が盛んに圧力をかけるというふうに触れ回った時に、いきなりトランプが金正恩と会うというような事が起きてしまうのです。アメリカの判断というのは必ずしも台湾有事が起きれば必ず戦争が起きるということではない、ただ流れからすれば戦争になる可能性は非常に高いということです。ですから、台湾有事はあるのかといえばおそらく台湾危機はある。間違いなくあります。ただそこに戦

争が絡むかどうかはわからない。日本の立ち位置をどうするかという問題。今の自民党から共産党全部含めてですが、それを仲介し、自制するような働き掛けができる力が本当にあるのだろうかといえ無いです。最近、安倍元首相が言うように台湾危機、台湾有事になれば日本有事だと言うような言い方になってきました。アメリカと一緒に中国と戦うような方法をなんとかリードしようとしています。ところが一方、日本経済は中国経済との依存関係がものすごく強いのです。もし中国の製品が日本に入ってくれば日本経済が破壊されます。食糧もそうですし、機械製品から最近のハイテク商品に至るまで入ってくなくなるといようなことからいけば、この米中対立を回避するという力がどこまで日本で作られるかどうかということが非常に重要ではないかと考えております。かつて日本の首相が3人暗殺されています。一人は原 敬、もう一人は浜口 雄幸、もう一人は五・一五事件で殺された犬養 毅です。この3名に共通するのは何かといいますと、日本と大陸とは共存していかないといけない、ともにアジアの平和のために協力しなければいけないという考えでした。軍部が中国大陸に満洲を作ったり、上海をはじめさまざまな侵略戦争を起こしたわけですが、真っ向から反対した3人が殺されたのです。伊藤 博文にしても韓国が併合する時に一番反対したのは伊藤 博文なのです。この台湾問題というのはこの今の流れを日本人としてどう考えるかという問題です。確かに中国と日本には考え方の隔たりが大きい。あるいは色々な意味の価値観が違う。しかしテレビ、冷蔵庫、洗濯機、色んな日常的な家電商品のシェアトップは中国。その中で中国との関係が一定程度疎外されてくるとたくさんの影響があります。

日本では、なかなか風が吹かないということでもなかなかうまくいかないのですが、ソーラーは今、もの凄い勢いで工場の屋根、一戸建ての屋根ののったりしています。そのソーラーパネルのほとんどは中国産です。そういう観点からいけば、中国を嫌うではなくて違いを認めながらいろいろな形で中国人との交流を進めて行くべきではないかなと。中国人はロータリーにはちょっと来られないかもしれませんが、人と人との繋がりというもの

を作っていかなければいけないというふうに思いました。

一つお話ししたいのがデジタル社会。日本は一周遅れ二周遅れという風な言われ方をしていますが、台湾にオードリータンというデジタル担当大臣がおります。最近オードリータンの本を読みましたら、IT化とデジタルは別物なんだと。IT化というのはオードリータンに言わせると機械と機械を繋ぐのがIT。デジタルとは人と人を繋ぐものだということを書いていました。オードリータンの政策の中でリバースメンターという制度があり、台湾政府の大臣は35歳以下のデジタルに明るい若者がメンター（＝指導者、助言者）として上司や先輩に助言するという制度を創っています。日本政府を見てみると、ほとんどが70代～80代という、まあ元気であるということは良い事なのですが、デジタルとは縁遠い人達がそういう政策を論じている。台湾は大臣のデジタル化が進み、とても知見の深い国なのです。そして18歳以下の選挙権を持たない若者に対して、政府に意見を言えるプラットフォームを作って、デジタルを使って民主主義の徹底を図ろうというのがオードリータンなのです。財政に関しても国民が参加できる仕組みを作ろうということも考えております。コロナウイルスの感染防止でも台湾が注目されています。やっぱりデジタルシステムです。例えば、マスクが不足したらこの薬局には何枚あるというようにことを積極的に公開していく。オードリータンにとっては、国家からは国民一人一人の個人情報とかいろいろな物はあまり見えないようにして、国民から政府を見たら全てわかるというのが目指す方向だと。

一方中国は、デジタル大国として先端技術を何に使っているのかということ、国民を監視するシステムを作っているのです。今ウイグルの問題が焦点になっていますが、例えばQRコード。これ日本人が開発したシステムなのですが、ウイグルでは住民全員にQRコードがついたそうです。だから、あなたは誰かと言ったらQRコードをピッとすれば全て個人データが出てきます。それからAIを使った監視カメラが至る所にあり、中国全土では1億カ所あるというふうに言われています。つまり刑務所にいる囚人から、横断歩道を渡ろうとし

ている人まで全部個人を特定できるようにしているという言われています。監視カメラで個人情報を収集してそのデータを解析する。そしてAIの機械学習でウイグルの住民を洗脳教育する。あるいは数十メートルくらいの間隔で武装警察を配置する。それから車に乗っている人間は全部追跡装置がついているそうです。つまりAI、デジタルが監視するために使われているという。これは中国がこのシステムをウイグルで実験し、全土に拡大しようというのが中国の考えなのだそうです。

台湾と中国の問題は、このデジタルの根本的な大差があり、片や民主主義を徹底しよう、片や国民ひとりひとりを監視して中国共産党の独裁に反する奴は全部排除しようと、まあ恐ろしい話です。ただ中国共産党は習近平ひとつでまとまっているのかというと、それはないだろうと。実は中国共産党は絶えず党内対立を繰り返しています。共産党が全盛期でもやっぱり批判する人間は現れています。

必ず台湾有事が起きるかといえばこの流れからいうと台湾有事に発展する流れはあるかと。ただ中国共産党が今の習近平体制で継続するかどうかというのはまたこれも疑問です。逆に言えば、中国共産党も含めていろんな交流がありますから、そういう点で少しでも自制させるようなアクションを起こしていく。確かに今経済的には非常に成長していますので、都市部を中心に富裕層がものすごく増えているという中で、習近平に対する批判の声というのは少ないと思うのです。これからもっともっと日本人は中国人と付き合うべきだし、韓国人とも付き合うべきです。これはやっぱりビジネスです。今韓国がデジタル含め、相当日本より進んでいる。韓国のデジタル分野は非常に見るものがある。日本が今後どこまで成長できるかというのはデジタル環境にかかっているのです。

21世紀は、中国、韓国、アメリカ自体は、自国利益だったら日本と行動します。日本の為に行動するというのはまず無いと考えるべきだと私は思っています。アメリカがもしこりゃあ勝てないなどということであれば、中国と和解する可能性もあるだろうし。そういう点で日本のことを考えるのであれば、自ら色んなことを調べながら平和を守つ

ていく必要があると思うのです。紛争を防止するには、やっぱり命がけだということですよ。しかも経済という非常に大きな共通ワードがございますので、そういう点で皆さんも経済人として色々と果たす役割があるのではないかと考えています。日中が友好関係にあれば台湾有事は回避できるだろう、というところで私の話は終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



例会風景

私の趣味



マラソン

50歳になった5年前、勤務地の北海道旭川市で、ランニングを始めました。旭川ハーフマラソン大会では、制限時間ギリギリで完走。今は、ひろしま国際平和マラソンへの参加を楽しみに広島城ランニングコースで練習中です！



小下 学
令和2年9月3日入会



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 梶本 政明
幹事 松岡 輝明

広島西RC **検索** 

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会